学校番号	215

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校改訂版 標準 現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「新編現代文Ｂ」（数研出版） 「書いて覚える漢字練習ノート」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では、社会人で必要となる国語力を身につけられるように学習します。
・様々な文章を読むことを通して、社会や人間のあり方について学び、自分自身の生き方について考えましょう。また、情緒豊かな文章を、深く味わい楽しみましょう。
・授業では１・２年次よりも抽象的な文章も読んでいきます。授業の説明をしっかりと聞くように心掛けて下さい。また文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育みましょう。様々な文章に触れることで、自分の生き方在り方について考え、高校卒業後に生かせるようにしましょう。
・授業中の発問に対しては、自分が当たっていなくても、常に自分の頭で考えて言語化する習慣をつけてください。
・気になったことは積極的にメモを取るようにしてください。
・予習として必ず自分で本文を読んでおいてください。授業後には内容を振り返って復習すること。

2　学習の到達目標

・語句の意味を理解しながら、文章の内容を把握することができる。
・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり話し合ったりする中で自分の考えをまとめて発言できる。
・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、論理的に表現できる。
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけ、小テストを８割以上取るための取り組みができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 （授業中の発言や発表等） 記述の点検 （ノート・プリント等）	行動の観察 （授業中の発言や発表等）	記述の確認 記述の分析 （ノート・プリント等） 定期考査	記述の確認 記述の分析 （ノート・プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート・プリント等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期 中間	随想	世界を見つめる。 教材:「ワスレナグサ」	○			◎	○	a:自分たちの日常についてどのような意味を持つかに関心をもっている。 d:筆者の発見を理解し，自分の言葉に対する見方,感じ方,考え方を豊かにしている。 e:語句の意味や指示語の内容を理解している。文脈にそって的確に読み取っている。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	人物の心情を読み取る。 教材:「卒業」	○			◎	○	a:作品の構成や「表現上の特色」に関心をもっている。 d:語り手の私は「大人になる」ということをどのように受けとめているのかを考え,説明している。 e:働くことや大人になることについて問いかけ、将来の展望について考える。	a、d、e:行動の観察及び、記述の点検
	評論	生への思索。 教材:「鏡としての他者」	◎			○	○	a:論理的な構造と論旨の展開について把握しようとしている。 d:他者の視点の持つ意味を客観的に考え、自己を問う新たな視点を持つ。 e:自分自身の問題として自分自身に引き寄せて読む姿勢を育てる。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	評論	異なる文化や社会を比較する。 教材:「記憶のゆがみ」	○			◎	○	a:二つの調査・実験がどのような位置づけになっているかを考えている。 d:文章全体の論理構造を捉えている。 e:生徒自身の体験と重ね合わせ自身の問題として考えている。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査

一学期 期末	随想	随想の幅広さや奥行きを味わう。 教材:「食と想像力」	○			◎	○	a:現代社会や自分を取り巻く環境について考え直し、生活を見つめなおすきっかけをつかもうとしている。 d:筆者が言おうとしていることは何なのかという主題について認識している。 e:「食」の問題や世界の労働事情ついて考える「心」と「姿勢」を作っている。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
一学期 期末	小説	人物のおかれた状況と心情を読み取る。 教材:「ひよこの眼」	○			◎	○	a:回想形式で始まることを意識し、筋の流れと小説全体の構成を考えようとしている。 d:表現の特徴と具体的な描写に留意させ、どのような効果を発揮しているかを考察している。 e:他社との関わり方、自己発見へと生徒自らの思索の手助けとなるようにする。	d、e:行動の観察及び、記述の点検 a:記述の確認及び定期考査
	評論	視点を変えてみる、方法を新しくする。 教材:「経験の教えについて」	○			◎	○	a:筆者の論の展開を正確に読み取ろうとしている。。 d:指示語・接続語に注意を払い、論旨を正確に把握する。 e:生きる上で「経験に学ぶ」ことが非常に重要なのだということを理解する。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
二学期 中間	評論	視点を変えてみる、方法を新しくする。 教材:「僕らの時代のメディア・リテラシー」	○			◎	○	a:文章全体の論理的な枠組みを把握しようとている。 d:「ステレオタイプを世界中に撒き散らす」危険性があることを認識している。 e:どのようにメディアと向き合っていけばよいのかについて「リテラシー」の重要性を中心に考えている。	a:行動の観察及び、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	小説	名作と呼ばれる作品にふれる 教材:「こころ」	○	◎			○	a:小説の展開を理解しようとしている。 b:登場人物の心の変化と行動を理解し、登場人物の生き方について話し合う。 e:日本文学の代表的作家、夏目漱石の小説の普遍性を理解する。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査

二学期 期末	評論	逆説的な表現や発想を読み解く。 教材:「ヒトはなぜヒトになったか」	○			◎	○	a 問題提起とその答えとなる箇所を把握している。 d:ヒトの進化の因果関係を捉え、理解している。 e:現在や未来の人類の姿とを重ねることで、自身の生き方や姿勢を考えている。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	俳句	日本の詩歌の豊かさを理解する 教材:「折々のうた」	○	◎			○	a:俳句で描かれた情景や心情を想像しようとしている。 b:個々の作品の特徴を話し合う。 e:俳句の修辞技法を理解する。	a、b:行動の観察及び、記述の点検 e:記述の確認及び定期考査
三学期 学年末	評論	逆説的な表現や発想を読み解く。 教材:「物語を発現する力」	○			◎	○	a:無意識に行っている認識の構造について新しい視点からの驚きを体験しようとしている。 d:具体例を通して「物語性」という語をキーワードに筆者の主張を理解している。 e:自分の体験に重ねて読解する姿勢を持ち、自分の認識を広げていく姿勢を身に着けている。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	小説	作品から寓意を読み取る。 教材:「山椒魚」	○		◎		○	a:多彩な表現の鑑賞を通して小説の読解力を向上させようとしている。 c:作品の寓意と「自由」について考えたことを深め、まとめている。 e:山椒魚の心情の変化を理解している。	a、e:行動の観察及び、記述の点検 c:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。